

この本を知っていますか？

書籍出版 (株)グリーン・プレス

\*中高齢者、在宅医療に関わる医師、行政職、医療関係者、看護等関係者に広く読まれています。必備下さい。  
ホームページでも内容詳細がご覧になれます⇒http://greenpress1.com



# 『これからの在宅医療 指針と実務』

監修 大島伸一(国立長寿医療センター名誉総長)

編集代表 鳥羽研二(国立長寿医療研究センター理事長)

判型B5正寸 オールカラー版 並製BUR製本(開きやすい)

ISBN978-4-907804-37-4 全432頁 定価: 本体 4,800 円+税

- これからの超高齢社会を見据えた、画期的な在宅医療推進の書——世界に例のない超高齢社会を迎え、日本の医療はパラダイムの変換を迫られている。方法の一つ。在宅医療を推進する以外にない。ではどうすればよいのか。最先端の研究者・医師 総勢51名が、それぞれの研究成果に基づき、在宅医療の課題を明らかにし、在宅医療推進のための具体的な方策と指針を提言する。
- 対象読者——医師、行政官、看護師、介護関係者、医師を目指す学生 中高齢者家族等の必読書です！

【本書の主な内容】 1.『在宅医療』へのアプローチQ&A /2.在宅医療は患者・家族にとっていいものか? /3.阻害要因としての老年症候群 /4.阻害要因;ベッド確保、病床連携、医療サービス  
5.在宅医療の現状・地域全体の課題 /6.被災地の課題とそこから得られた知見  
7.在宅医療の全国展開 /8.医療関係者の意識改革に向けて /9.看取りを行ってきた先駆者たち

【執筆者一覧】 ●編集委員 和田忠志(いらはら診療所在宅医療部長) 太田秀樹(医療法人アスミス理事長) 大島浩子(国長医介護・看護研究室長) 三浦久幸(国長医在宅連携医療部長)

●執筆者(50音順) 秋下雅弘(東大医学部老年科教授) 蘆野吉和(社会医療法人「北斗」) 荒井秀典(国長医副院長) 粟田主一(東長医研究部長) 飯島勝矢(東大高齢社会准教授) 梅垣宏行(名大在宅医療学講師) 大石善也(大石歯科医院院長) 大河内二郎(社会医療法人若弘会「竜間之郷」施設長) 大塚理加(榊政策基礎研究所) 沖永壯治(東北大加齢医学准教授) 金子康彦(三重中央医療センター栄養管理室長) 川島孝一郎(仙台往診クリニック院長) 菊地和則(東長医研究員) 葛谷雅文(名大教授) 黒岩卓夫(医療法人萌気会理事長) 神崎恒一(杏林大高齢医学教授) 後藤百万(名大泌尿器科教授) 後藤友子(国長医研究員) 小林一貴(千葉大地域災害医療学) 近藤尚己(東大准教授) 佐々木昌弘(文科省医学教育課企画官) 塩澤耕平(医療法人鉄祐会) 杉浦彩子(国長医耳鼻咽喉科長) 鈴木邦彦(日本医師会常任理事) 園原和樹(桔梗ヶ原病院) 高橋龍太郎(東長医支援医療・福祉関係代表) 武久洋三(医療法人平成博愛会理事長) 辻哲夫(東大特任教授) 寺田尚弘(釜石ファミリークリニック院長) 長島洋介(科学技術新興機構アソシエイトフェロー) 橋本正良(埼玉医大教授) 服部文子(広島大医学部) 平原佐斗司(東京ふれあい医療生協副理事長) 福岡秀記(カリフォルニア大サンディエゴ校) 古田勝経(国長医外来研究員) 堀江重郎(順天堂大院泌尿器外科教授) 前川佳敬(森ノ宮医療大学教授) 三澤仁平(日本大医学部助教) 武藤真祐(医療法人鉄祐会理事長) 望月諭(杏林大医学部高齢医学) 百瀬由美子(愛知県立大看護学部教授) 山崎幸子(文京学院大准教授) 横手幸太郎(千葉大院教授) 吉江悟(東大医学部在宅医療学研究員) 楽木宏美(大阪大院教授)

註) \*国長医→国立長寿医療研究センター \*東長医→東京都健康長寿医療センター

●全国どこ書店からも注文可能です。 ●図書館の皆さまへ この用紙を書店にお持ち下さい。

●直接注文もOK。下記の注文センターまでお電話かファックスを！一括購入等にもご相談対応します。

書店名・図書館名・施設名等		(株)グリーン・プレス	
書名	注文数		
これからの在宅医療——指針と実務			
監修/大島伸一 編集代表/鳥羽研二 執筆者総数 51 名			
総ページ数 432			
定価: 本体 4,800 円+税 B5正寸 ISBN978-4-907804-37-4			
(株)グリーン・プレス : 〒156-0044 東京都世田谷区赤堤 4-36-19ukビル Tel. 03-5678-7177			
注文センター : Fax. 03-5678-7178			